

| | | | | | | |
|---|---|-----|----------|--------|-----|----------|
| 事業No. | 6 | 事業名 | 鳥の博物館の運営 | | 担当課 | 鳥の博物館 |
| 仕分け結果 | | | | | | |
| 廃止 | | 民営化 | | 市(要改善) | 8 | 市(現行どおり) |
| 主な意見(委員) | | | | | | |
| <p>【市(要改善)】— 全員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営の面で専門的なノウハウをもったところから一部力を借りて、入館料も含めて考えていかなければならない。 ・もっと活用を。魅力アップのためいろいろ考えてほしい。インターネット活用、外国語ホームページ、対象を日本だけでなく世界を相手に考えてほしい。学芸員だけでなく、商工観光の担当や魅力発信室などからいろいろ知恵を頂いて魅力アップに繋げてほしい。そのためには、館長が常駐していない今の状況では意思決定のスピード感など課題があるのではないかと。 ・今後改革はするのだろうか、現状では限界があるのではないかと。総合的なプランが必要ではないかと。そのためにも外部団体、世界の鳥に関わる関係者、関係団体との連携・協力ができる仕組みが必要ではないかと。イメージキャラクターづくりや特典などいろいろな工夫・アイデアを出し合って進めてほしい。 ・施設の長寿命化計画のように展示のアップデート計画があってもいいのではないかと。ミュージアムショップの民営化も検討を。新規入館者の増加には手賀沼に関係した施策がいいのではないかと。リピーター増加策は、友の会のノウハウがあるのだから参考にして考えてほしい。 ・現状から大きな改善は見込めないのではないかと。自主事業も含めた全面的な指定管理者導入を考えたらどうか。民営化も考えていいと思う。現状の職員体制をみてもSNSや情報発信での現状改善は厳しい。今の登録博物館は博物館法の適用を受ける。類似施設にすれば博物館法の適用を受けない。博物館法適用のメリットは、国県の補助金だが、現状そういった活動が見受けられない。また相当施設、類似施設にすれば開館日も融通が利く。あるいは指定管理者にして指定管理者の方で学芸員を置いてもらうこともできる。今のままではますます入館者が減ってしまう。 ・現状の問題把握、その改善努力は理解できる。その実現にはもっと人、予算を増やして拡充を。 ・博物館は日常から離れた「ムダ」があってもいい場所だが、展示内容があまり変わっていない。展示は、例えば100倍大の雀やハチドリ模型を展示して恐竜との共通点を示して子供たちの興味をそそるものとか、自由な発想で考えてほしい。とにかく面白い展示になるよう工夫してほしい。入館料も受益者負担の観点から見直し、それに恥じない展示を。 ・市民スタッフ、友の会も含め入館料をきちっと徴収することも必要。その上で割引制度があってもいい。年間入館票があってもいい。スポンサーをつけることも必要ではないかと。その場合は、我孫子市だけでなく、全国に一つの博物館なのだから全国の企業に参加してもらうことも必要ではないかと。YouTubeの活用も考えてほしい。 | | | | | | |
| 傍聴者の意見等 | | | | | | |
| <p>【傍聴者の意見・発言】</p> <p>なし</p> | | | | | | |
| 市の対応方針 | | | | | | |
| 市対応方針 | 検討内容 | | | | | |
| 市(要改善) | <p>外部団体や関係団体との連携・協力について、公益財団法人山階鳥類研究所と自然科学や生涯学習の分野で協力するために協定を締結し、相互の連携を強化します。また、あびこの魅力発信室や商業観光課などの庁内関係課とも連携を強化しながら、遠方の方にも博物館事業を紹介し周知するため、YouTubeなどを活用し広く情報発信を行っていきます。職員体制については、迅速かつ新たな発想で運営ができるような体制を整えていきます。</p> <p>民営化の導入について、民間活力導入のメリットやデメリットを整理していくとともに、ミュージアムショップの運営については、民間活力の導入も視野に入れ、販売力の強化や業務効率化の検討を進めます。</p> <p>受益者負担の考え方に基づき、入館料の免除対象者の範囲については、令和3年度中に見直しを行います。</p> <p>施設のリニューアルなどに活用できるよう、基金を設立し寄付を募るなど、財源確保に向けた検討を行います。</p> | | | | | |